

絆

きずな

図書館ボランティアだより 第44号 令和3年(2021年)12月1日

発行 阪南市図書館フレンズ広報部会



図書館フレンズ 12月の活動予定

*入会などのお問い合わせは、阪南市立図書館 図書館フレンズ事務局
(072 - 471 - 9000) までご連絡ください。

**年末は12月28日(火)まで、年始は1月6日(木)から開館です。

部 会	活動内容・日時	場所など
配架部会	返却本を本棚にもどす 開館日：午前9時～10時	図書館内
書庫入れ部会	書庫で返却本の整理をする 毎週火曜日：午前10時～12時 毎週金曜日：午前10時～12時	図書館3階
図書整備部会	本の修理など 毎週月・金曜日 午前10時～12時・午後1時～3時	図書館内
館内装飾部会	児童コーナーの飾りを制作し飾りつけ 最終火曜日午前中	図書館内
広報部会	広報「絆(きずな)」の編集・発行 「絆(第44号)」編集会議 12月19日(日)午後2時30分～3時	オンラインで行います。
生け花緑化整備部会	館内の生け花や観葉植物の世話 随時	図書館内
ブックスタート部会	絵本の読み聞かせとパックの配布 12月2日(木)4ヶ月児健康診査時	保健センター
おはなしでてこい	お話・絵本の読み聞かせ・紙芝居など 毎週土曜日午後2時～2時20分	図書館内紙芝居コーナー
はじまり はじまり♪紙芝居	紙芝居の上演 12月5日(日) 午後2時～2時20分	図書館内紙芝居コーナー

*活動日は、新型コロナウイルス感染症の急拡大によって、変更になる場合があります。

カット 河野芳夫



図書館フレンズ紹介 わたしたちの活動



ブックスタート部会

部会長 滑田眞理子さんと懇談しました

広報部：こんにちは。よろしくお願ひします。早速ですが、ブックスタート部はどのような活動をされているのですか？

滑田：市の4ヶ月児健診時、司書さんから絵本の紹介があり、保護者に、1冊選んで頂き、その後、部会員が絵本を読んだり、子育てに関する情報（冊子）をお伝えしています。

広報部：この活動を、始められた動機やきっかけはどんなことでしょうか？

滑田：日頃、図書館にお世話になり、何かお手伝いできないかという思いと、絵本と出会って楽しいので、赤ちゃんとお保護者の方にお伝えできたらと言う気持ちで参加させていただきました。

広報部：絵本はどのようにして選ぶのですか？

滑田：司書さんが、赤ちゃん絵本の中からおすすめのものを選ばれています。一人目の方には『じゃあじゃあ びりびり』を紹介されますが、お持ちの方には用意した6冊の中から、選んでいただきます。

広報部：私の孫も『じゃあじゃあ びりびり』をいただき、せがまれて何度も何度も読んだ楽しい思い出があります。

おかげで、本が大好きになり、小学校で、図書係になっています。たいへん有難く思っています。お母さん方から、そのようなお話はございませんか？

滑田：4ヶ月検診の後で、保護者の方とお会いする機会がないので、お聞きすることはできませんが、二人目三人目のお母さんから、上の子は、絵本が好きで読んでくれていますというお話は聞く事があります。

広報部：コロナ禍で活動がままなりません、今後の活動についてどのようにお考えでしょうか？

滑田：今までは、司書さんが健診時に本を渡されているのみでしたが、11月より活動が再開できました。しかし、まだ以前のように赤ちゃんとおふれあうことはできません。もう少しふれあうことができるようになればと思います。計画はありませんが、絵本展示もしている



活動日：4ヶ月児健康診査時
午後1時～3時 保健センター
連絡先：阪南市立図書館
072 - 471 - 9000

入会し、活動しています



私とボランティア

村上さん

退職後、家の近くにある知的障がい者の作業所を見学してからボランティアを始めました。タオルを畳んだり袋に入れる作業でした。初めの頃は週に2回行っていたことがありましたが次第に減っていきました。

ボランティアを始めてから4、5年経ち別のボランティアもしてみたいと思っていた時に、図書館ボランティアがあることを知り参加しました。それから図書整備部会に属し、原則として月に2回（1回になった時もありました。）ボランティアを始めることになりました。装備は器用な方をお願いして、主に修理を担当してきました。

子どもの図鑑や怪獣の本などかなり傷んでいる本に出会うことがあります。それだけ子どもたちに興味があって活用しているんだなあと思います。

修理する中で、ちょっと切り過ぎたりする失敗もありますが、どこが修理した個所なのか分からないぐらいまくいくこともあります。

ボランティアを通じて少しでも社会に貢献できているのであれば嬉しいです。

また、一緒に作業する方と交わす会話が情報交換になったり、参考になることもあるので大事にしていきたいと思っています。



図書整備部に入って

西山さん

私は岬町在住ですが、阪南市立図書館を広域利用させて頂いています。

図書館ボランティアについては、図書館のHP上で知りました。

家庭の事情により長い間、仕事に就く事が難しく、日常の合間を縫って趣味や資格取得勉強などをして過ごしてきました。1年ほど前からやっと時間にゆとりが出てまいりました。

今まで、いやこれからもずっとですが、多くの人や医療機関、行政などにお世話になり続けるので、働く事は難しくても社会に出て、少しでも社会に貢献して、その恩返しをしたく思い入会させて頂きました。

少し前に図書館司書資格を通信で取得しました。図書の整備については司書の勉強の時に知り、興味もあったので司書整備部に入りましたが、ブッカーのかけ方を2か月ほど教わって今はそれを、一人でしているのととても心細く不安もありました。でも、先日から同じ時間に本の修理の方も来られるようになりました。

また、図書館のスタッフさんも、気持ちよく何でも聞ける雰囲気もあり、心強く思えます。私も修理など出来る事が少しでも増えるよう頑張りたいと思います。

私は、図書整備部には金曜日の午前中に来ています。9時から配架をし、その後10時から図書整備部で活動しています。

火曜日は同じように配架して、その後10時から書庫入れもしています。

これらの活動に参加している中で一番楽しく思えることは、自分で借りる本は、どうしても片寄ってしまいがちですが、配架や図書整備、書庫入れをしていると、自分では見つけられないジャンルの本に出会えることがとても多く、毎回とても新鮮で次に借りたい本のリストが増えていくことです。

私の出来る範囲ですが、少しでも社会に恩返しし、少しでも社会に貢献できていると思えることが嬉しいです。



共に図書館を

— 市民説明会「図書館の指定管理について」に参加して —

阪南市図書館フレンズ 代表 橋本一郎

10月9日土曜日、阪南まもる館で市民説明会が開催されましたので、参加しました。

丁寧な説明

最初に、阪南市立図書館の加藤館長より、資料に基づく、丁寧な説明があった。説明を聞いて、「指定管理者制度の導入」が、待ったなしの状況であることが理解できました。

図書館司書の採用など

図書館を指定管理者にする理由の一つに今まで、将来を見据えた図書館司書などの職員の採用をしてこなかったことがあります。市は、指定管理者制度により、専門職である司書を確保したいとのことでした。

建設的な討議を

加藤館長の説明の後、意見発表がありました。現在の職員の処遇、市民へのサービスの低下への心配などが出されました。

それに対して、加藤館長を始め阪南市教育委員会からの答えは、「そのようなこと（サービスの低下など）が無いようにします。」というものでした。

確かに、心配されるようなサービスの低下を避けたいと思っているだろうということは理解できます。

しかし、このような討議はいくら重ねても建設的なものが出てこないだろうと思います。

心配している側からは、「他市の例からするとそうなるはずだ。」と言う意見が出され、答える側からは、「そうならないように努力します。」と言う。

これでは、相互に言葉をお互いにかけているだけになってしまいます。

教育委員会は、生涯学習センター的機能を作って、担当者を置き、指定管理に対応すると言っているのだから、それに期待したいと思います。

市民の出番です

今までは、市立図書館なので市民がそのサービスを受けるのが当然でした。しかし、図書館運営費が十分確保できない市の財政状況からすれば、市民は、「お金を出す」か「市民が自らサービスの低下を防ぐ」しか方法はないと思います。

図書館ボランティアが重要

現在の図書館も、多くのボランティアの活動によって支えられています。これから、ますます、図書館ボランティアの活動が重要になってきます。

その中心である阪南市図書館フレンズの重要性が増してくるだろうと思います。

